

午前9時00分～午前11時30分

働くとは何かを考える  
- 未来を見据えて毎日を過ごそう -

経済同友会  
林 明夫

Q1 会社・団体名等基本的プロフィール (名前: 林 明夫 職種: 経営管理者)

- (1) 株式会社 開倫塾 代表取締役社長
- (2) マニー株式会社 社外取締役
- (3) 学校法人 有朋学園 東日本高等学院 理事長
- (4) 社会福祉法人 清明苑 特別養護老人ホーム 理事
- (5) 国立大学法人 宇都宮大学大学院工学研究科 客員教授

Q2 所属会社・団体の業務内容

- (1) 小学生・中学生・高校生対象の学習塾。  
栃木県を中心に群馬県・茨城県に 48 校、塾生数 6500 名。「教え方日本一で塾生数北関東一」を目指す。
- (2) 手術用縫合針製造。宇都宮市に本社、ベトナム・ミャンマー・ラオスに工場。  
「世界一の製品を世界のすみずみに」を目指す。
- (3) 中学校、高校で不登校で苦しんだ生徒のための 1 学年約 30 名、約 100 名の全日制高校。  
福島県福島市。「親切で楽しい学校」を目指す。
- (4) 高齢者の介護施設。居宅介護支援、通所介護、訪問介護などを行う特別養護老人ホーム清明苑と、健康デイリーサービスを行うけやき、高齢者複合施設のみりの里 田島。  
地域密着型介護サービスを目指す。
- (5) 工学系大学院修士課程の大学院生に対して経営工学序論を担当。  
時々には工学部 3・4 年生も指導。

### Q3 仕事の内容

(1)～(4)は株式会社や学校法人・社会福祉法人の経営が仕事内容。

(1)、(3)の社長や理事長は経営最高責任者としての最終的意思決定を行うことが仕事内容。

(2)、(4)はこれからこの会社や社会福祉法人をどうするか、あるべき姿について経営上の意思決定をする際、自らの意見を明確に述べるのが仕事内容。

(5)大学生、大学院生の教育指導と研究。

### Q4 仕事について

各々の企業や学校、大学、介護施設には、各々の目的、つまり経営理念や社会的使命(ミッション)、行動目標がある。それらをよく理解して自らに与えられた役割を果たすことが、やり甲斐であり喜びであり、大変な点でもある。

(1)～(5)の他にも企業再生や新聞・雑誌・開倫塾の担当しているページの原稿を執筆したり、所属する団体の勉強会等にも毎日のように参加。また、一人で担当する毎週1回放送の来年24年目に入るラジオ番組(効果の上がる勉強方法の10分間番組)のために準備をし続けている。少し大変ではあるが、興味のつきない毎日を送っている。

### Q5 この仕事に就くには

(1)高校や大学・短大・専門学校の教科の勉強と、生徒会活動や部活動、課外活動、学校行事など教科外の活動は、社会に出てすべて役に立つ。学校時代の毎日を大切に過ごすこと。

(2)読書により思慮深さと自分自身を振り返る自省心を身につけること。新聞を読み自ら考える力と批判的思考能力(Critical thinking)を身につけること。「学び方を学ぶ能力」(自己学習能力)を身につけること。図書館の活用方法を身につけること。

(3)自分はこの分野で生きていくのだと決めたら「志」を高く持ち、それに関するありとあらゆる勉強をすること。「人生逃げ場なし」、一度やると決めたことは「一所懸命」に「一つの所で命を懸ける」くらい熱心に取り組むこと。「初心忘るべからず」

Q 6 松原高校生へのメッセージ

(1)何のために働くのか。働くのは、「生活できるだけの収入を得るため」と「仕事を通して自己実現するため」と考えます。ただし、そのためには「結果の出せる仕事能力」(雇われる能力)を身につけて、お客様や社会のお役に立つこと、つまり問題解決できることが求められます。変化の激しい社会で何がお客様や社会の問題か、それをどう解決するかをお客様や社会の発展の見地から考えましょう。

(2)これからの社会では、英語とコンピュータ、一つ以上自分の得意分野・専門領域を持つことは欠かせません。英語とコンピュータを確実に身につけた上で、得意分野・専門分野を必ず一つは持つようがんばって下さい。英語は多様な集団で交流する能力の第一です。コンピュータは知識・情報化社会で活動する上で、欠かせません。

(3)ものごとを選ぶときに選択肢は一つだけではなく、いくつかあった方が幸せと考えます。ただし、選択肢のいくつかある人生を歩むにはそれなりの努力、自律的に活動する力が必要と考えます。

(4)本当の勉強は社会に出てからです。「教育ある人」とは「生涯にわたって勉強し続ける人」と考えます。

「一生勉強、一生青春」です。自分の夢や希望に向かって少しずつでも毎日コツコツと勉強し続け、「いつまでも若々しく生きる」ことを目指しましょう。

(5)高校時代には古典(古文・漢文)の読み方を身につけること。数字と理科に親しみ、理系にも進むこともあきらめないで下さい。

以上